

総務経済常任委員会活動レポート

開催日時：令和6年11月28日(木)

開催場所：1・2号委員会室

総務部

1. 防災について

12月21日(土)～22日(日)開催の北海道防災会議主催「令和6年度第2回北海道防災総合訓練」について、厳冬期における日本海溝・千島海溝沿いのM8を超える巨大地震による大津波発生を想定した訓練を根室管内5市町で実施、本町は医療救護訓練と物資輸送訓練を重点的に実施する旨報告を受けました。

【主な質疑】

委員：見学等の対応は？

担当：訓練は中標津空港ターミナルビル屋上及び総合体育館で見学可能です。

2. 人事院勧告について

人事院勧告による給与改定は、民間企業従事者の給与水準に準拠して均衡させることを基本に平均3.0%、ボーナスは0.1月の引き上げとなり、特に人材確保の観点から初任給を大幅に引き上げ、これに準拠し、本町も改正が実施されるとの報告を受けました。

3. 町財政の現状について

令和7年度予算編成方針の説明を受け、令和6年度当初予算と令和7年度財政指針との比較により、8.7億円の収支不足が見込まれること、その後、基金、町債の推移の説明がありました。

- ・歳入で自主財源の根幹をなす町税は堅調に推移し、令和7年度も伸びを期待しますが、原油価格・物価の高騰が長期化している影響などにより、今後の見通しは不透明な状況です。
- ・一般財源総額の約5割を占める地方交付税は、総務省概算要求段階で「令和6年度地方財政計画と同水準を確保する。」とし、対前年度1.7%増の予算要求となっておりますが、財政収支不足額を補てんする臨時財政対策債は、発行額を抑制する観点から昨年度過去最少の予算要求額から70.4%増の要求となっているものの、衆議院議員選挙後の政権の枠組みが不透明のなか、本町にとって必要な財源が総体的に確保できるか予断を許さない状況です。
- ・歳出では、社会保障経費や人件費などの義務的経費の増加が見込まれるほか、原油価格・物価高騰の著しい影響により、あらゆる経費が増加傾向にあるなど、多額の一般財源を要する状況が見込まれることから、財政の硬直化が進行する懸念があります。
- ・こうした状況下、令和7年度の予算編成は、第7期中標津町総合計画における「まちづくりの基本理念」に基づく将来像「空とみどりが人をつないでいくまち 中標津」の実現に向け、新たな課題を見据えた施策を、効果の測定と評価に基づいて展開す

ることにより、町の活気や支え合い、新たな価値の創造などにつなげ「住みたいまち、住み続けたいまち」とするため、部局の垣根を越えて職員が一丸となり大胆な発想と攻めの姿勢を持って、中標津らしさの追求と「住みやすさNO.1のまち」を目指すものとする。

4. 北方領土対策について

毎年12月1日北方領土返還要求運動始まりの日に、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会主催により、運動拡大と国民世論の高揚を図ることを目的としたアピール行進・政府要請行動・街頭啓発（北方領土展）を実施する旨の報告を受けました。

経 済 部

1. 農業振興について

(1) エゾシカ対策について

令和6年度エゾシカ有害駆除実績（5月～10月）の捕獲頭数、利活用率の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：エゾシカによる農業被害額・被害面積が増えているのに対し、捕獲頭数が減少しているのは？

担当：本年度はヒグマ対応に人と時間が費やされたことが原因だと思います。

(2) ヒグマ対応について

ヒグマ出没時の連絡・対応体制、出没・出動・駆除情報の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：市街地の出没が増えています。児童への対処法などの教育は？

担当：知床財団のわかりやすい教材を借りて、地元のハンターさんに指導を担ってもらっています。

(3) 野犬対応について

近年増加している野犬による牛への被害、捕獲檻貸出状況、保護の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：野犬による牛への被害が、ヒグマ被害より大きくなっています。捕獲檻ではなかなか捕獲できないようですが、何か対応を考えていますか？

担当：複数頭捕獲できるとされる、サークルトラップを導入することを検討をしています。

委員：保護された野犬をボランティアへ保護協力を要請していますが、その経費は？

担当：要した経費は、町で対応しています。

委員：野犬を増やさないためにも農家への協力は重要です。農協だよりなどで「避妊・去勢手術のお願い」を掲載予定とありますが両農協への依頼ですか？

担当：両農協の広報紙12月号に掲載する予定となっています。